

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：2019年度第2四半期（2019年7月～9月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：149企業

（製造業：31社 建設業：20社 小売業：39社 サービス業：59社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇 10.0 ~▲10.0	 曇 ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	--	--	---

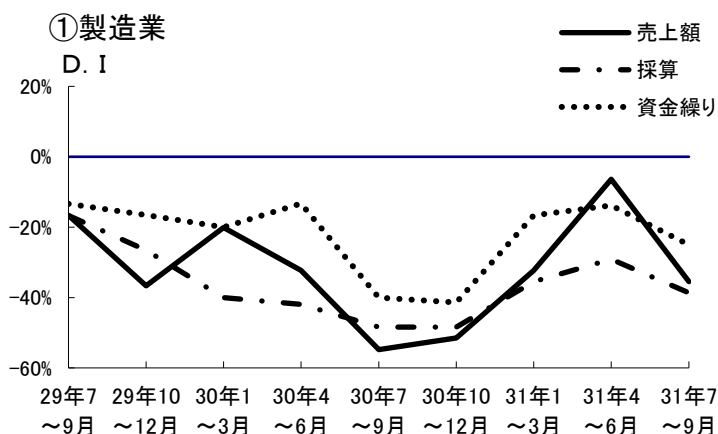
1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
		天気図	DI値	天気図	DI値	天気図	DI値	天気図	DI値	天気図	DI値
期別	平成29年 7~9月期		▲ 20.0		▲ 10.0		▲ 36.6		▲ 35.6		▲ 25.6
	平成29年 10~12月期		▲ 20.0		▲ 5.0		▲ 48.9		▲ 32.7		▲ 26.7
	平成30年 1~3月期		▲ 43.3		5.0		▲ 58.5		▲ 45.8		▲ 35.7
	平成30年 4~6月期		▲ 43.3		▲ 15.0		▲ 41.0		▲ 8.4		▲ 26.9
	平成30年 7~9月期		▲ 46.7		5.0		▲ 45.0		▲ 16.9		▲ 25.9
	平成30年 10~12月期		▲ 30.0		15.0		▲ 48.6		▲ 16.9		▲ 20.1
	平成31年 1~3月期		▲ 36.7		20.0		▲ 47.5		▲ 28.8		▲ 23.3
	平成31年 4~6月期		▲ 23.4		30.0		▲ 45.0		▲ 12.1		▲ 12.6
	平成31年 7~9月期		▲ 36.7		20.0		▲ 41.0		▲ 15.2		▲ 18.2
	来期見通し 10~12月期		▲ 33.4		10.0		▲ 53.8		▲ 25.4		▲ 25.7

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

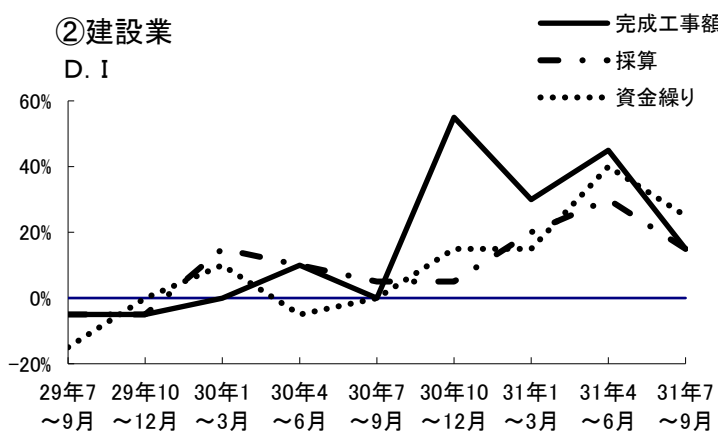


<前期比>

売上額 : 悪化 (▲6.4→▲35.5 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲29.1→▲38.7 ポイント)
 資金繰り : 悪化 (▲13.8→▲25.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (24.1%)
 2位 : 製品ニーズの変化 (17.2%)

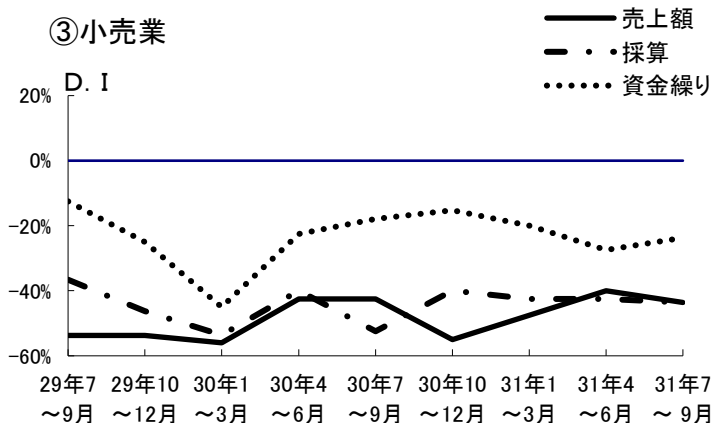


<前期比>

完成工事額 : 悪化 (45.0→15.0 ポイント)
 採算 : 悪化 (30.0→15.0 ポイント)
 資金繰り : 悪化 (40.0→25.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 材料価格の上昇 (26.7%)
 2位 : 民間需要の停滞 (20.0%)

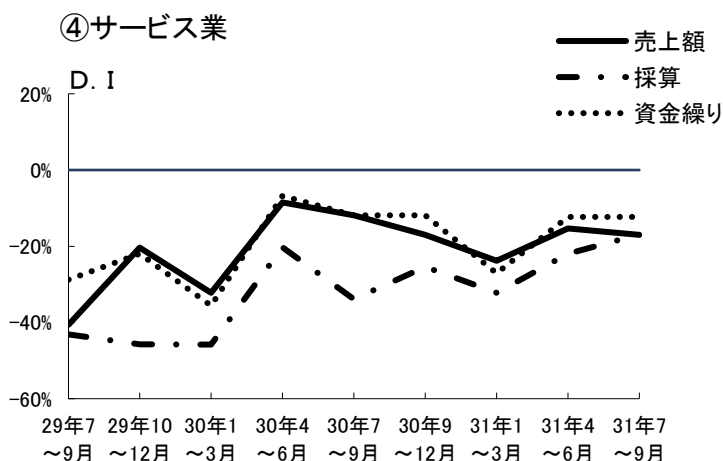


<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲40.0→▲43.6 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲42.5→▲43.6 ポイント)
 資金繰り : やや好転 (▲27.5→▲23.7 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 購買力の他地域への流出 (20.5%)
 2位 : 需要の停滞 (15.4%)



<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲15.3→▲17.0 ポイント)
 採算 : やや好転 (▲22.0→▲16.9 ポイント)
 資金繰り : 横ばい (▲12.3→▲12.3 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 材料等仕入単価の上昇 (28.6%)
 2位 : 従業員の確保難 (16.3%)